しきなん

敷島北小学校にて陸上記録会実施

例年になく季節性のインフルエンザの感染が拡大したり、台風の本土上陸などにより実施が危ぶまれた陸上記録会でしたが、予定どおり一〇月二〇日（火）に敷島北小学校を会場に実施することができました。

昨年は敷島南小学校が会場校でしたが、敷島北小学校と交互に会場を移しながら実施しています。さらに、敷島・双葉・竜王地区と合併し、甲斐市が誕生したことが結果、敷島・双葉地区の小学校が親睦と公式記録取得等を目的として開催されるようになりました。

しかし、放課後の時間を使い会場準備をする各学校の担当職員（体育部等）の肩に掛かる会場準備の負担も大きく、整えられた会場で力一杯実力を発揮する準備をしても、汎用性を考えて建設された運動場とでは、記録の伸びに限界があると感じています。

教育協議会やＰＴＡ等の要望事項の中にも設備の整った陸上競技場で甲斐市内の小学校が一堂に集まり実施することができないかと、ここ数年、検討を重ねています。

六年生。陸上競技に詳しい伊藤先生の指導を受けて。

陸上記録会のバトンリレーに取り組む、

敷島・双葉地区六年児童が一堂に会し開会式→

右上は、最後まで競った走り跳び。上は、開会式直前の一こま。

敷島南小学校

第九回東日本吹奏楽大会フェスティバル大賞

敷島南小吹奏楽部は、北海道札幌市にある札幌コンサートホールKitara大ホールで一〇月一〇日（土）に開催された東日本吹奏楽大会で、フェスティバル部門小学校の部で最優秀にあたるフェスティバル大賞を受賞しました。

保護者の皆様をはじめ、甲斐市教育委員会からの厚い御支援をいただき、大会に参加することができましたことではなく高い評価を受けることができました。送り出した保護者の方々や学校関係者も、無事に使命を果たすことができたことから喜んでいるものと思います。大会は終わりましたが、本校が維持している特色ある活動は、全校児童の教育に必要と考え、継続している取り組みと捉えています。この大会以後にも一一月三日（火）に、「山梨県小学校バンドフェスティバル」（県民文化ホールにて午後二時頃出演）に参加、一一月一四日（土）には「第二四回県民の日記念行事・国民文化祭ＰＲステージ」（小瀬スポーツ公園芝生特設ステージにて午後一二時頃出場）にも出演することになっています。

保護者の方々には、早朝より児童や楽器の輸送等に日頃より御支援いただき、厚く御礼申し上げます。

ＰＴＡバザー収益〝一三二，八〇〇円〟

先月二八日（水）に実施されたＰＴＡバザーに、地域や保護者の皆様から沢山の品物が届けられ、盛会の内にバザーが終了しました。

今年は、会場内に規制テープを設け、その直前までお客様を誘導した結果なのか、それとも皆様が落ち着かれていたのか、商品に「殺到する」という様子がなく、皆様整然と品定めをしたり手に取られたりと和やかな雰囲気の中で販売が続けられました。

なお、提供していただいた品物は、磁器や陶器類が多く、職員やタオル類は少ないかな？という印象でした。これも世の中の状況を映し出しているのではと、感じました。多くの品物は販売されましたが、残ってしまった物は、例年、近隣の福祉施設にお届けしていますので、今年度もそのようにさせていただきます。

また、収益金は昨年と同じくＰＴＡ役員の方々と相談しながら児童の教育環境改善のために使わせていただければ幸です。

北海道札幌市にあるクラーク博士の銅像を背景に記念撮影（１０月９日）

学校と社会

世の中は不況だといわれています。通学する児童が成人した時、生きる力を少年少女の時代からしっかり身につけておくべきではありますが、その必要性を感じないまま大人になってしまう人たちもいるそうです。「ピーターパンシンドローム」という大人に成りたがらない青年の存在、「おたく」といわれる人たちの社会的認知、漫画が文化の一翼を担い、活字離れが進行し、テレビにはバラエティー番組を至る所のチャンネルで放映する社会。満ち足りたような社会生活を送る大人達。古い人間は社会が「甘え」を許す環境を認知してしまったのでは、と感じます。物理学で現象が入り交じり起きている様を「混沌」というそうです。もしかして現代は「混沌」なのか？しっかりしないと人生も「混沌」になんて…（文責：飯室）